

技管協発第3016号
平成30年8月20日

各都道府県・市町村廃棄物主管部（局）長 殿
廃棄物処理施設設置者・管理者 殿
廃棄物処理施設技術管理者 各位
環境カウンセラー・産業廃棄物処理責任者 殿
一般社団法人 廃棄物処理施設技術管理協会 会員各位

一般社団法人 廃棄物処理施設技術管理協会
会 長 柳 井 薫（会長の印略）

第13回「廃棄物処理施設維持管理技術事例研究発表会」のご案内 — 第62回「生活と環境全国大会」公開講座 —

時下 益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

当協会の事業の推進につきましては、平素より格別のご高配を賜り深謝申し上げます。

さて、当協会では廃棄物処理施設の維持管理技術の向上を図ることにより、廃棄物処理施設の安全かつ安定的・効率的な施設管理に貢献することを目的に活動しております。

本活動の一環として、標記事例研究発表会を本年度も別紙のとおり、第62回「生活と環境全国大会」の共催行事として開催いたします。

また、平成30年度の会長感謝状贈呈式ならびに年間論文賞表彰式は、例年どおり同会場で開催いたします。

つきましては、業務ご多端の折とは存じますが、廃棄物処理実務者の知識、技術の研鑽並びに情報交流の場として本発表会を活用いただきたく、ご案内を申し上げます。

【お問合せ・事務局担当】

〒210-0828 川崎市川崎区四谷上町10-6
一般財団法人 日本環境衛生センター内
一般社団法人 廃棄物処理施設技術管理協会
TEL. 044 (288) 2456
FAX. 044 (270) 5566
ホームページ <http://jaem.or.jp/>
E-mail gikankyo-info01@jaem.or.jp
担 当 谷・山根・清水

第13回「廃棄物処理施設維持管理技術事例研究発表会」 の開催について（お知らせ） — 第62回「生活と環境全国大会」公開講座 — 廃棄物処理における「循環」と「共生」

第5次環境基本計画(平成30年4月17日閣議決定)では、「持続可能な開発目標(SDGs)」、パリ協定採択後に初めて策定される環境基本計画であり、我々が目指すべき持続可能な社会の姿として「循環共生型の社会」が示されています。物質・生命の「循環」と自然と人間や地域間の「共生」による「低炭素」の実現が重要とされ、第4次環境基本計画(平成24年4月27日閣議決定)における低炭素、資源循環、自然共生政策の統合的アプローチに踏み込んでいます。

これからの廃棄物処理においても、「資源循環」のみならず、自然と人、人(地域資源の供給者)と人(その需要者)、都市や農山漁村も含めた地域同士の「共生」による「低炭素」の実現が求められています。

そこで、今年度のテーマは、“廃棄物処理における「循環」と「共生」”とし、環境省、福島県などの自治体、関連企業からご講演いただきます。

☆主 催：一般社団法人 廃棄物処理施設技術管理協会

☆共 催：一般財団法人 日本環境衛生センター

☆会 期：平成30年10月19日（金）

（第62回「生活と環境全国大会」開催期間：平成30年10月17日～19日）

☆会 場：「コラッセふくしま」

〒960-8053 福島県福島市三河南町1番20号

・JR福島駅（東北新幹線、東北本線、奥羽本線）西口より徒歩3分

☆参加費：参加費は無料ですが、当日配布資料「抄録集」をご希望される方は、以下の区分で配布費を申し受けます。

○当協会会員および講演発表者は配布費が免除されます。

○非会員の方は、配布費3,000円（税込）となります。（当日支払い）

☆申込方法：別添「参加申込書」を当協会あてにお送りください。

入力用の申込書はHPからダウンロードもできます。

<http://jaem.or.jp/training.html>

★予定プログラム：8月10日現在(変更される場合があります)
より詳しい講演内容(概要)をホームページに随時更新してまいります。

進行	時間帯	テーマ	講演者 ※座長	講演者所属先
挨拶	09:30 09:35	主催者挨拶 開催地挨拶	南川 秀樹 佐藤 俊彦	(一財)日本環境衛生センター 理事長 (一社)福島県産業廃棄物協会 会長
【基調講演】	09:40～10:00	(仮題)第5次環境基本計画を踏まえたこれからの廃棄物処理	工藤 喜史	環境省環境再生・資源循環局 廃棄物適正処理推進課 課長補佐
	10:00～10:20	ふくしま復興のあゆみーふくしまの環境回復に向けてー	橋本 武士	福島県生活環境部 環境回復推進監
	10:20～10:40	(仮題)福島における環境再生の取り組み	中尾 豊	環境省福島地方環境事務所 次長
【事例研究発表】 再生可能エネルギー・ごみ処理関係			※藤原 周史	(一財)日本環境衛生センター 部長
特別講演	10:45～11:05	廃棄物エネルギーの利活用低炭素化技術について	秩父 薫雅	(一社)日本環境衛生施設工業会 技術委員会副委員長
一般発表	11:05～11:20	ごみからのエネルギー回収+地域利活用全般について	溝田 健一	(一財)日本環境衛生センター
	11:20～11:35	ごみ処理施設の基幹改良事業と長期包括運営委託について	川緑 匠	(一財)日本環境衛生センター
	11:35～11:50	逗子市のゼロウェイストへの挑戦	石井 義久	逗子市
昼休憩	12:05～13:45	【ランチセミナー】 無料昼食付(詳細は当日会場にてご案内いたします) 特別講演 南川 秀樹 (一財)日本環境衛生センター 理事長 プラントメーカーの最新の処理技術発表(エントリー順) 約8題の発表を予定		
	13:15～13:45	【特別行事】 一般社団法人廃棄物処理施設技術管理協会 会長感謝状贈呈式・年間論文賞表彰式 来賓挨拶 奥村 明雄 (一財)日本環境衛生センター 会長		
【事例研究発表】 処理施設維持管理・適正処理関係、災害廃棄物関係			※佐藤 幸世	(一財)日本環境衛生センター 理事
一般発表	14:00～14:15	地域の防災拠点 今治市クリーンセンター	戸崎 正裕	今治市 (株)タクマ
	14:15～14:30	福島県内における放射性汚染廃棄物の減容化処理等に係る技術支援業務について	秋月 祐司	(一財)日本環境衛生センター
	14:30～14:45	放射性物質を含む下水道汚泥の焼却処理について	品川 和彦 長谷川 明彦	(株)あいづダストセンター
	14:45～15:00	いわき市における災害廃棄物処理について	高田 友則	(株)クレハ環境
	15:00～15:15	産業廃棄物処理技術を生かした震災復興への貢献	本多 亮	恵和興業(株)
【事例研究発表】 処理施設維持管理・適正処理関係、災害廃棄物関係			※石黒 智彦	(一社)廃棄物処理施設技術管理協会 専務理事
一般発表	15:20～15:35	汚泥再生処理センターにおける可溶化汚泥からのリン回収	松下 知広	日立造船(株)
	15:35～15:50	(仮題)し尿処理施設の維持管理に関する動向	山口 泰典	(一財)日本環境衛生センター
	15:50～16:05	建設廃棄物に含まれる土砂を再利用した盛土材「NS-10」	熊谷 豊	石坂産業(株)
	16:05～16:20	Co-Energyと温度応力を考慮したキャッピング工法に関する力学特性の考察	遠藤 清亮	神奈川県県土整備局
	16:20～16:35	一般廃棄物新最終処分場の用地選定経過について	長井 広寿	福島市 環境部
挨拶	16:35	閉会の挨拶	柳井 薫	(一社)廃棄物処理施設技術管理協会 会長

発表会終了ののち、技管協HP「教育・研修事業」のページに一部講演資料を公開予定(技管協会員特典)です。

第13回 廃棄物処理施設維持管理技術事例研究発表会
参加申込書

入力用の申込書はHPからダウンロードもできます。
<http://jaem.or.jp/training.html>

1. 本受付証の送信先FAX番号をご記入ください。 ()

2. 参加者のお名前をご記入ください。会員の方は会員番号を必ずご記入ください。

参加者のお名前 会員No (非会員の方は空欄)

参加者のお名前 会員No (非会員の方は空欄)

参加者のお名前 会員No (非会員の方は空欄)

3. 本参加申込に関するご連絡先等 ※技管協会員でご登録の連絡先に同じ場合は記入不要です。

担当者氏名 勤務先

所 属

所 在 地 〒

連絡先電話 ()

E-MAIL 平成30年 月 日

※事務局記載欄

参加申込 受付確認証

上記のお申込みを確認し受付いたしましたので本証をお送りいたします。
ありがとうございました。

(一般社団法人 廃棄物処理施設技術管理協会事務局確認欄)

受付番号 (印)

- 会員の方は当日、本確認証を受付に提示と引き換えに資料「抄録集」を受け取ってください。
- 非会員の方で資料「抄録集」の購入を希望される場合は、当日「生活と環境全国大会」受付でお手続きください。